

熊本県立大学

文学部紀要

第12巻 通巻第65号

2006年2月

朔太郎詩文学の深淵	梁 東 国	1
英文和訳の日本語力ー熊本県立大学の学生の場合	馬 場 良 二	21
派生接尾辞 -ish の多義構造 (二)	清 水 啓 子	47
ーイメージ・スキーマの重ね合わせと焦点化にもとづく概念操作ー		
語る主体と語られる主体： <i>Breakfast at Tiffany's</i> における作者の痕跡	徳 永 紀美子	77
ラネカーと現在時制	三 木 悦 三	101
クルト・ケプルナー著 『戦争の国への旅ーユーゴスラビアでのー外国人の体験』 抄訳 (3)	元 吉 瑞 枝	125
付随的語彙学習における単語学習と単語検索頻度、 語彙サイズとの関係について	吉 井 誠	143
形容詞述語文の主語の立て方	半 藤 英 明	174(1)

熊本県立大学文学部